

# 奥尻の海の安全 と環境を見守って

奥尻地区水域監視活動組織  
奥尻地区海の監視活動組織

# 1. 奥尻町の概要

- 奥尻町は北海道南西部の日本海上に位置する周囲 84 kmの離島
- 奥尻島全域が檜山道立自然公園の一部となる自然豊かな島であり、観光名所や温泉が多い
- 島外との交通は奥尻～函館間の航空機と奥尻～江差間のフェリー
- 年間平均気温11.0℃と北海道では比較的温暖
- 人口 2,363人（R4年）で基幹産業は漁業と観光業



奥尻町の年齢別人口（R4）

～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 69歳	70以 上	合計
452名	216名	261名	264名	390名	780名	2,363 名





賽の河原公園



宮津弁天宮



球島山



鍋釣岩



うにまるモニュメント



神威脇



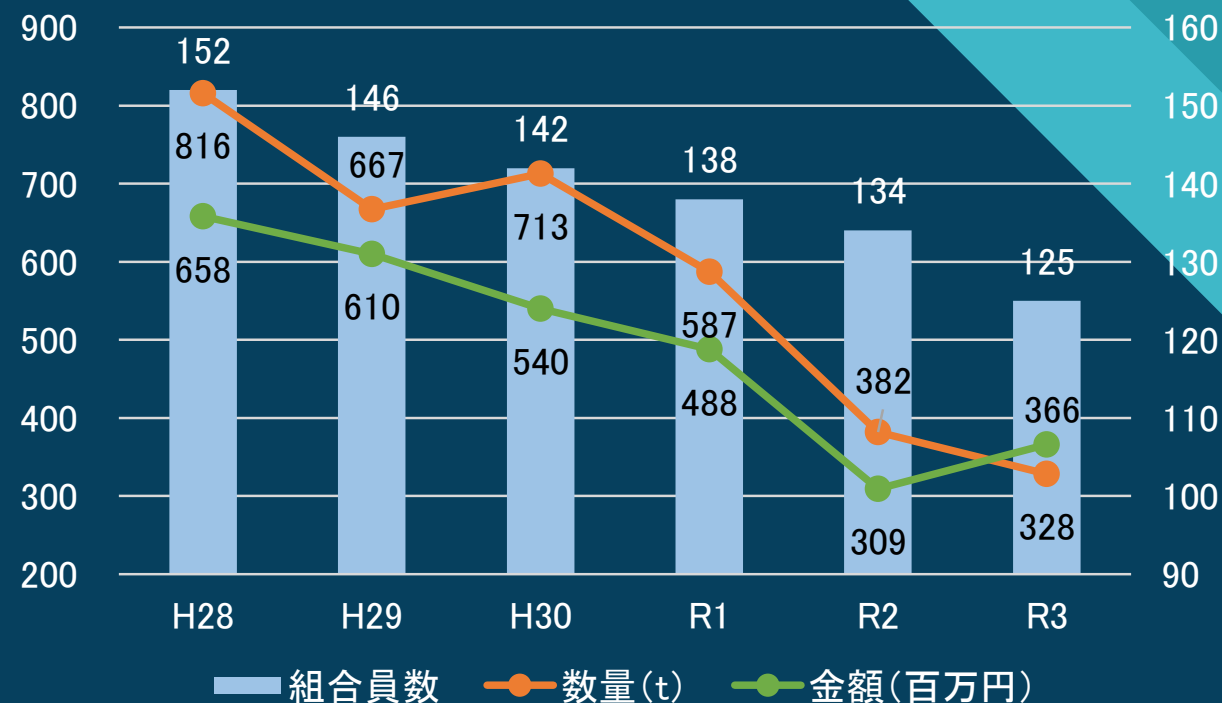
## 2. 漁業の概要

- 漁船漁業では、イカ釣り漁業やホッケを対象とした底建網漁業のほか、たこ漁業、刺網漁業、一本釣り漁業などがある
- 磯根漁業では、当町を代表するキタムラサキウニ・エゾアワビのタモ取り漁業のほか、ナマコ、採そう漁業などがある
- 組合員は122名、R3年度の水揚げ数量は約330t、水揚げ金額は約3億7千万円



年齢別組合員数（R4）

～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 69歳	70以 上	合計
3名	9名	7名	4名	27名	72名	122名



OKUSHIRI  
SALMON

淡雪







# 3. 奥尻島における海難、不審船、災害の歴史

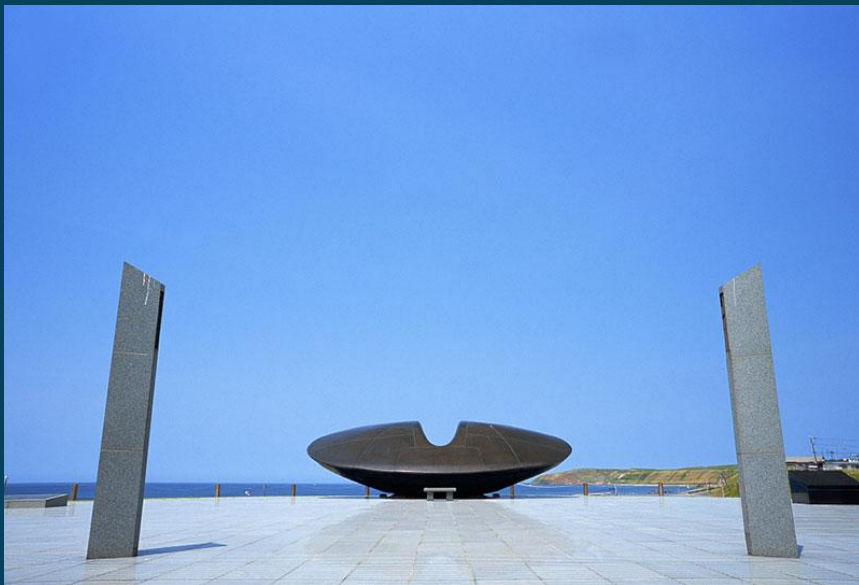
(大正以前)

西暦	年号	できごと
1454	享徳3	武田信広(松前家の祖)主従が、南部大畑(大和)より上ノ国に向かう途中難船し、本島に漂着したという伝承が伝えられる。
1555	弘治元	上杉謙信の臣宇田遠江守師長が、川中島の戦より落ち延びて従者3名と蝦夷地渡来の途中、本島に漂着。
1705	宝永2	酒田獺師町船頭三太郎水主と67人が、材木積み取り航行中に大暴風に遭い難船し、舢舨で本島に漂着して漁師甚九郎に救助される。
1724	享保9	神威山が噴火し、島内南部に多くの被害があったようである。
1741	寛保元	松前大島が噴火し、本島降灰。
1789	寛政元	福山町小松前喜蔵水主ら6人が、石狩にアキアジを買い付けに行く途中、奥尻島沖で遭難。
1790	寛政2	藩船海徳丸船頭水主ら6人が本島沖で遭難。
1805	文化2	ロシア艦ナデシュタ号が、本島8マイルに接近して経緯度などを測量。
1859	安政6	アメリカ商船スプリング号が室津島に座礁し、乗組員が同島に上陸。
1880	明治13	英国支那艦隊旗艦アイロン・デューク号が青苗沖で座礁。
1902	明治35	岩内汽船株式会社所有の北運丸が、稲穂灯台沖で火災事故。
1905	明治38	後志丸持田岬沖で浸水し、球島海岸浅瀬に乗り上げる。帆船慶寿丸と汽船北雄丸が稲穂岬沖で衝突事故。石川県の和船神徳丸が美の歌沿岸で難破事故。
1924	大正13	帝国水難救済会奥尻救難所設置



## (昭和以降)

西暦	年号	できごと
1972	昭和47	異常低気圧による高波が襲い、住家、道路、河川、漁船などに大きな被害(被害総額約3億300万円)。
1983	昭和58	日本海中部沖地震発生(秋田県西方160キロ沖、マグニチュード7.7)、津波により死者2名(被害総額約13億8千528万円)。
1987	昭和62	台風12号から変わった低気圧による強風・高波で大きな被害(漁船171隻沈没・破損、道路・海岸決壊等、被害総額約11億4516万円)。
1983	平成5	北海道南西沖地震(7月12日午後10時17分発生、震源奥尻北方約50km、マグニチュード7.8、大津波・火災・土砂崩れ等により被害甚大、死者行方不明者198名)。
2004	平成16	台風18号災害(暴風・高潮被害としては過去最大級の被害)。



北海道南西沖地震慰霊碑

平成5年の「北海道南西沖地震」で壊滅的な被害を受けた当時、島の再建は絶望的といわれたが、全国からの物心両面からの温かい支援や協力によって町民が一丸となって復興に立ち上がり、策定した「奥尻町災害復興計画」に沿った防災対策をはじめとする復興をわずか5年間で果たすことができ、平成10年に「完全復興宣言」をするに至った。

その後も「災害に強い町」を基調にまちづくりを進め、歴史に裏打ちされた先人の苦勞や偉業を尊びながら、豊富な水産資源や貴重な観光資源を活かした奥尻町の更なる発展と、ここに住む町民の幸福を願いながら現在に至っている(奥尻町HPより)。

※写真出典：奥尻町観光協会 (<https://unimaru.com>)



## 4. 活動組織の概要

### ◆ 奥尻地区水域監視活動組織

設立年度	平成26年度
構成員数	57名（R4）
構成団体	漁業者、ひやま漁協奥尻支所
活動項目	国境・水域の監視
活動内容	休漁中（主に冬季）における不審船・環境異変の発見・報告

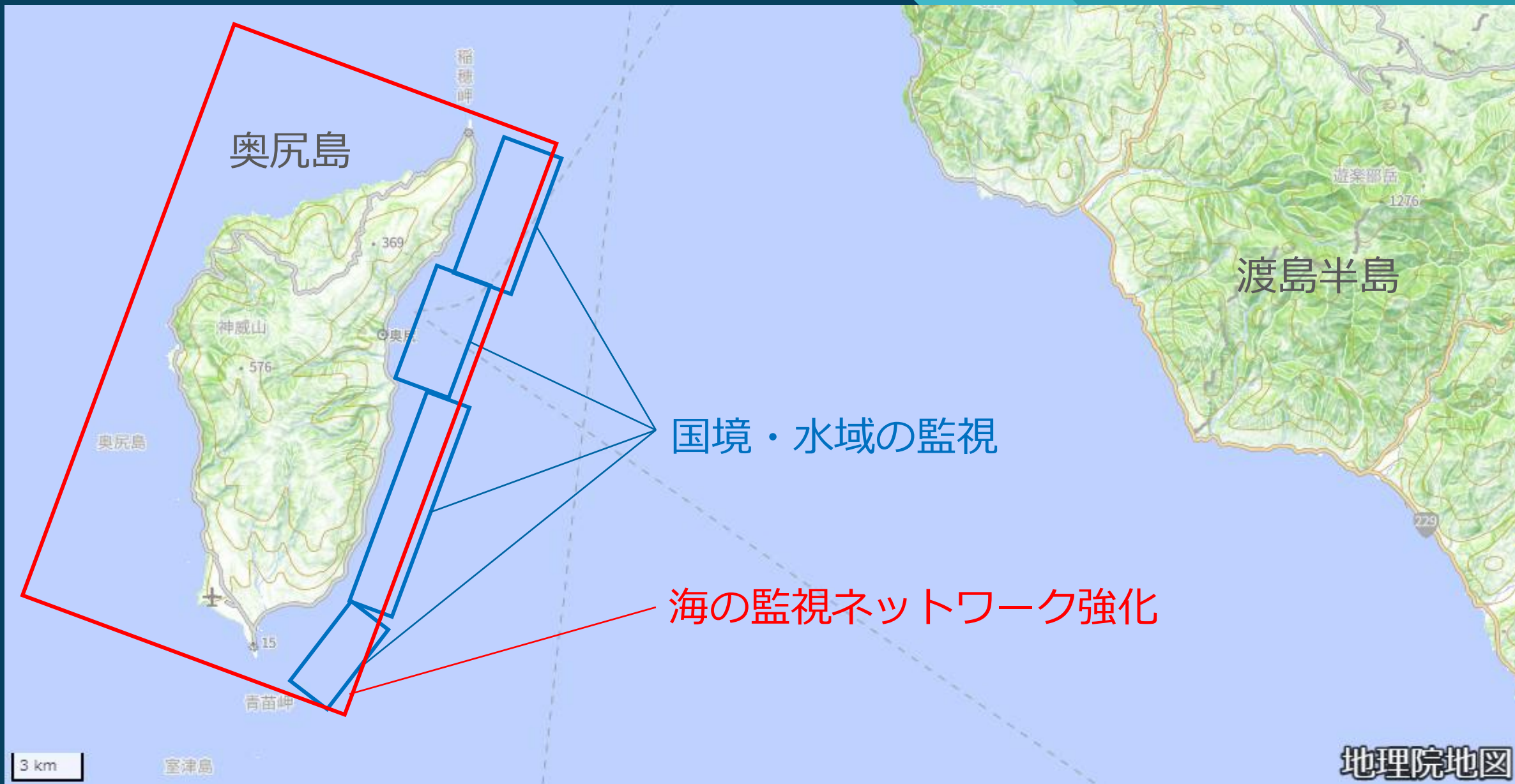
### ◆ 奥尻地区海の監視活動組織

設立年度	平成30年度
構成員数	123名（R4）
構成団体	漁業者、ひやま漁協奥尻支所
活動項目	海の監視ネットワーク強化
活動内容	漁労中における不審船・環境異変の発見・報告

### ● 監視の対象（共通）

- ・不審船、漂流・漂着船、廃棄物の投棄、その他の不法行為
- ・赤潮、漂流・漂着ゴミ、流木、海獣類の移動・繁殖、油濁等の水質汚染、その他の環境異変

# ●活動位置図





## ● 出航前の手続き

救命胴衣を  
忘れずに！



安全第一でいっ  
てらっしゃい！



## 5. 活動実績

### ◆奥尻地区水域監視活動組織

年度	監視隻数 (延べ)	不審 船等	環境 異変	備考
H26	175	0	56	主に海獣類
H27	176	0	24	主に海獣類
H28	223	0	66	主に海獣類
H29	223	0	2	主に海獣類
H30	223	0	5	主に海獣類
R1	223	0	1	主に海獣類
R2	235	0	2	主に海獣類
R3	273	0	2	主に海獣類

### ◆奥尻地区海の監視活動組織

年度	監視隻数 (延べ)	不審 船等	環境 異変	備考
H30	1,700	0	15	流木、漂流物
R1	4,516	0	2	漂流物
R2	6,184	0	8	流木、漂流物
R3	3,092	0	1	漂流物









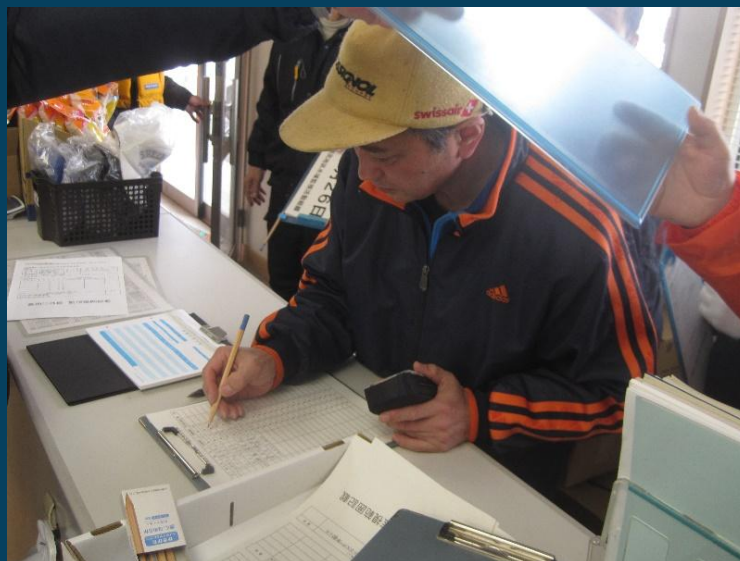


# 6. 活動の成果

効果的・効率的な  
監視体制を構築

## 報告・情報の一元化

監視活動



情報共有



数字では表せませんが...

## 監視の目の配置による

- ・地域の人々への安心感の提供
- ・違法、不法行為に対する抑止力
- ・環境異変や漁業被害に対する迅速な対応

## 監視体制の整備による

- ・安心、安全な航路、漁場の確保
- ・関係機関との連携強化
- ・地域防災力の補完

...などの効果が期待できます



# 7. 今後の展開

## 概要

新米・高齢漁業者が安全で安心して操業できる体制の構築及び次世代の担い手の育成の一環として磯舟にGPSセンサーを搭載し、「操業位置情報管理（うみのパトロール）」「資源管理（うみのレントゲン）」「観測ブイ情報管理（うみのアメダス）」といった最新のICT技術を導入し、資源管理システムの構築による水揚げの増加、安心できる操業環境の構築する。

## 漁業者が利用できる機能

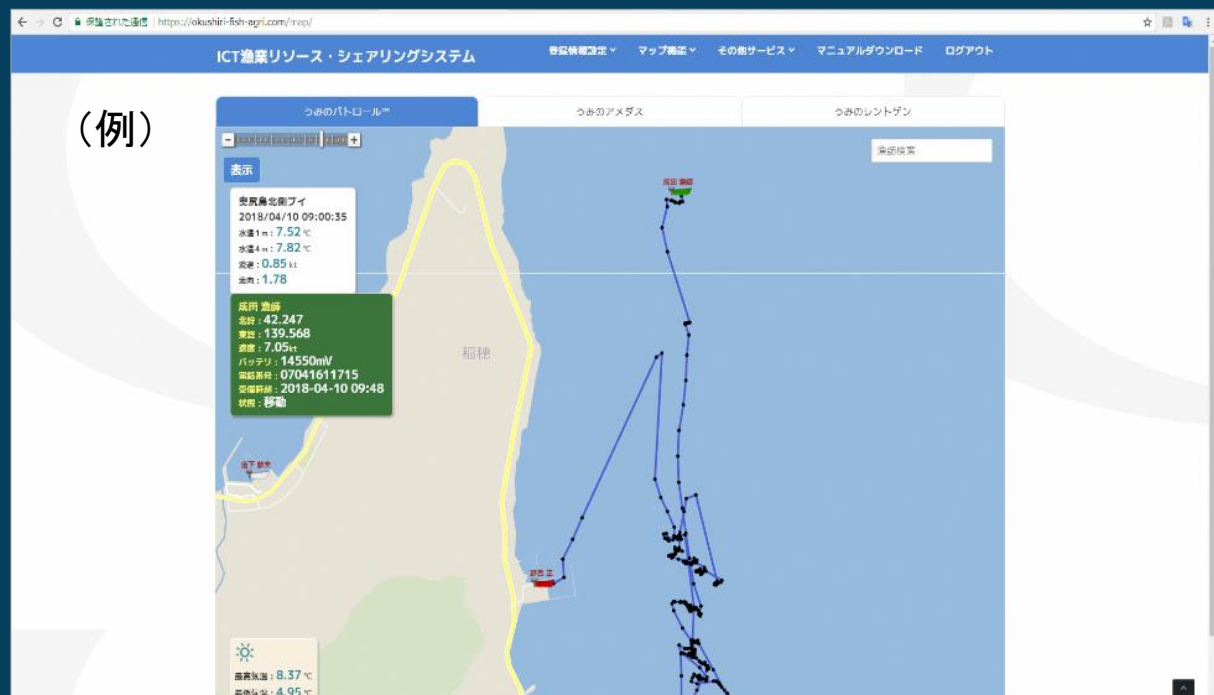
- ・自分の磯船の位置をマップ画面で確認できる。
- ・ブイ情報（潮の向き、潮の早さ）を確認できる。
- ・過去に自分が漁をした場所と漁獲量をマップ画面で確認できる。
- ・雨や霧等での視界不良が発生し自分の位置が判らなくなった場合に、音声応答サービスへ携帯電話から発信すると島内の10のランドマークからの方向と距離を音声ガイドで案内する。



「あなたの船の位置は、稲穂岬から南西500メートルです。ブイ情報の水温は8.7℃、潮の向きは北北東、速さは2.6ノットです。」

## うみのパトロール

- 全ての磯船の操業位置をマップ画面へ表示する。
- 漁師の氏名で磯船の位置を検索できる。
- その日の航跡をマップ画面で確認でき、通過ポイントを指定するとその時の時間と速度を表示できる。
- 出港、帰港、操業、警報等の磯船の状態を自動判定して色分け表示する。
- ブイ情報（潮の向き、潮の早さ）をマップ画面へ表示しますSOS発信された場合、GPS信号が30分以上途絶した場合は緊急連絡先へメールおよびFAXを送信する。
- SOSとなった舟は赤く表示され、各漁師のマップ画面でも確認可能となる。



GPSセンサー



観測ブイ





私たちはこれからも  
奥尻の海の安全と環境を  
見守ってまいります

ご清聴ありがとうございました